

議会活動

◆ 中部地区町村議会議員・事務局職員研修会

令和5年10月10日、北谷町ニライセンターで中部地区町村議会議長会(伊波篤会長)主催の中部地区町村議会議員・事務局職員研修会が開催され、沖縄県町村議会議長会 石垣安秀氏による「議会運営事例報告」のほか議員の心構え等の講義が行われました。また、議会招集期日の変更についての地方自治法改正後、県内で初のケースとなった西原町議会の事務手続の事例が紹介されました。



先進地視察研修

◆ 総務財政常任委員会 行政視察

総務財政常任委員会(長浜ひろみ委員長)は10月23日から25日にかけて、平成23(2011)年3月11日東日本大震災の被災の実情や教訓を学び西原町に活かしていくため、防災や復興について様々な取組みを視察しました。宮城県利府町で災害と避難支援について、南三陸町志津川地区で震災復興祈念公園を語り部から、戸倉公民館(旧戸倉中学校)で震災の停電で止まったままの時計、周辺の復興。石巻市震災遺構大川小学校では防災と避難支援について研修しました。東日本大震災を教訓とし利府町では災害と避難支援で行政、議会、自治会の連携「自助」と「共助」の必要性、防災計画や二次被害対策、避難所運営、避難所における感染対策等を研修し、震災後3日間は人命救助第一である事を学びました。南三陸町視察では防災無線が各家庭に設置され、南三陸町旧戸倉中学校では震災から5年以上が経過した2016年10月に戸倉公民館としてリニューアルし、現在は地域における生涯学習の中核的な施設として利用されています。石巻市立大川小学校では、大震災後の津波により児童108名中74名・教員10名が亡くなっています。同校は海から3.7km内陸に位置するため、津波は到達しないと思われましたが大津波は川を遡上してきました。地震後大津波警報が発令され避難を呼びかける中、50分間校庭にとどまり続け、二次避難先を想定していなかったため、結果的に高い裏山ではなく「橋のたもとの小高い場所」へ避難を決めてしまったことなどの当時の状況が、隣接する大川震災伝承館に展示されています。東日本大震災から12年が経過し、防災に関する意識の低下があってはなりません。町民の生命、財産を守ることを常に意識し災害対策、防災計画の重要性を推進して参ります。



▲利府町役場議場にて

題字制作者



西原小学校5年生
せそくるる
瀬底 春風さん

ひとこと

楽しい気持ちを文字で表現してみました。これからも習字や習い事、部活動を頑張っていきたいです。

表紙の題字と写真をお寄せください あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか？

表紙の題字(『議会だより』の文字。横書き)と写真を募集しています。うまいへたは関係ありません。こどもから大人まで、生き生きとした題字と写真をお待ちしています。

送付先：議会事務局 (担当：当真)

TEL.945-5122 FAX.945-5045

✉ gikai_jimu@town.nishihara.okinawa.jp



6月議会の傍聴者

延べ人数

9人

議会だよりに対するご意見、ご要望はこちらへ

西原町議会事務局
TEL:098-945-5122

西原町議会
広報調査特別委員会 委員
與那嶺 良樹

『人生は短い様に感じられる。』
子供の教育・若い世代は自分の為に想いを巡らし心の癒しの時があつてはと思う。

十五夜遊びも同様に素晴らしい演目が披露された。出演者の賜物である。西原まつりも最たるイベントと思う。

幸地区は、綱引きと十五夜遊びがある。コロナ禍6年振り行う。楽しい行事である。地域の繁栄と安全祈願で、歴史も古い。綱作りは、作る人が足りない。若い方々は、伝統文化に対し関心を持って欲しいものである。

